



2012/7/4

福島県全域を対象にした
乳幼児の保護者と幼児の心理的ストレス
調査の結果について

福島大学 子どもの心のストレスアセスメントチーム

筒井雄二（共生システム理工学類）

富永美佐子（人間発達文化学類）

高原 円（共生システム理工学類）

高谷理恵子（人間発達文化学類）

1

目的

福島大学 子どもの心のストレスアセスメントチームはこれまで福島県の **中通りの児童、園児**とその保護者を対象に2回のストレス調査を実施し、低年齢児にも高いストレス反応があらわれていることを報告した。

低年齢児のストレス測定法はこれまで未確立→3歳児用および1歳6か月児用ストレス評価尺度をストレスアセスメントチームが考案、調査に使用

1. 今回の調査では、**3歳児と1歳6か月児**、および**生後4か月、1歳6か月**、**3歳**の子どもをもつ**保護者**を調査の対象とし、どの年齢までストレスの影響が及んでいるのかを分析した。

2. **福島県全体を調査対象**とし、不安やストレスの高さを県内の地域間で比較し、また放射線量と不安やストレスの高さとの関係を分析した。

これらの調査からストレス対策が必要な地域、ストレス対策が必要な子どもたちの年齢について推測できるものと考えた。

2012/7/4

2